

廃娼運動・存娼運動・買売春管理の資料を網羅した「戦前編／第Ⅰ期・第Ⅱ期」に続く、
近現代日本の性暴力／買売春問題を俯瞰する資料集成、待望の「戦後編」刊行。
今なお続く性の商品化と性暴力の根源に迫る七〇〇余点の資料群！

〔編集復刻版〕

性暴力 問題資料集成

………買売春問題資料集成〔戦後編〕

不二出版

一九四五年八月。日本政府は、敗戦後ただちに、これまでアジア各地で行ってきた兵士「慰安」を占領軍にも提供した。

内務省と警察の指示を受けて結成された業者組織・R A A協会に始まり、GHQによる公娼制度廃止、一〇ヶ月後新たな集娼制Ⅱ赤線地域の形成、と性を売買する動きは急速に再編成されてゆく。

いっぽう、占領軍兵士によつて多発した女性暴行事件や引き揚げ女性への性暴力など、外国人の日本人女性への強姦・買春によつて、女性への性暴力が初めて問題化された。しかし、女性を貧困と性暴力の被害にさらしながら、政府はあいかわらず性病と国辱の根源を売春女性にあるとし、戦前の廃娼運動からつながらず反買売春運動がついに獲得した「売春防止法」もまた売春女性を処罰するという重大な欠陥を残したままであった。

本資料集成は、敗戦から売春防止法施行前後の一九六〇年まで、女性への性暴力の歴史を七〇〇余点の資料によつて跡づける。

全二五巻・
別冊一

解説Ⅱ藤目ゆき

A4判・B5判／上製／総約九〇〇〇ページ
揃定価Ⅱ本体六〇〇、〇〇〇円＋税

編集復刻にあたって

敗戦と同時に、日本政府は、戦争中に日本軍がアジア各地で行っていた性的暴行と性奴隷制を当然日本占領の進駐軍も行うと考え、すぐさま売春業者に命じてR.A.A協会を結成させ、女性たちを集め、「性的慰安施設」を提供した。接客婦募集は敗戦からわずか二日目の八月二六日、最初の占領軍向け買春施設・大森小町園の開設はその翌日であった。連合軍総司令部は、敗戦の翌年には「公娼制度廃止にかんする覚書」を日本政府に渡し、ここに娼妓取締規則の廃止すなわち戦前からの女性運動の悲願でもあった公娼制度の廃止が達成された。しかしそれは「公娼」がなくなったことだけを意味し、「私娼」「闇の女」として存在し、あいかわらず性病取り締まりの対象であり、警視庁は二〇ヶ月後には集娼地域を指定し「赤線」という名の公娼制を確立して再び公然と女性の売買を管理した。貧困とアメリカ軍による性暴力は、新たに女性たちを売春産業へ追いやった。とくに少女たちは五〇年代になってもなお人身売買事件の犠牲になり続け、それは凶作や自然災害に遭った東北地方などだけでなく、東京など都市部でも頻発した。また国内だけでなく、中国などでもなされた外国軍隊、外国人による日本女性への性暴力は、日本のナショナリズムを刺激し、日本の近現代史上はじめて強姦女性への性暴力を問題化させたのである。一方、戦前から娼妓運動をたたかってきた女性たちとして初めて選ばれた女性議員たちは、買春そのものの廃絶をめざし、「売春禁止」の法制化を求めて粘り強く運動を進め、何度かの議員立法と国会審議を経て、ついには一九五六年、売春防止法をかちとる。売春防止法が、買春を人としての尊厳を害するものとして禁じたことは長い買春史において画期的であった。しかし、売春業者を処罰の対象とするのは当然としても、売春女性をも処罰の対象にしたこと、そして買春制度のもたらした性病や女性への性暴力・蔑視・商品化があたかも売春女性の責任であるかのように、買う男性ではなく、売る女性の「更生」が求められた、という欠陥を持っていた。そもそも性産業で働く当事者の女性たちの意志を反映させず、彼女らを「補導」されるべき対象として扱ったことに問題があった。また同法は、いわゆる街娼行為は禁止しているものの管理買春での買春は問われておらず、その意味でも実効性が乏しく、性産業従事者が解放される道は遠かった。「戦後」という名とはうらはらに、女性たちにとって性暴力が横行し、性産業に生きるしかない状況は、戦場と変わりなかつた。本資料集は、敗戦後から一九六〇年までの性暴力・買春に関する書籍・リーフレット等の資料を収集し、編集復刻版とした。女性への暴力、性の売買の問題について考えるすべての人に至るものである。

内容頁本(適宜縮小して復刻版)ページに原本ページを面付けてあります

この報告書は総理府官房審議室世論調査部(昭和二十四年一月十九日-二月九日)関東地方仙台市で調査した結果をもとづく連合軍総司令部側の報告書の録録である。



国立世論調査所

賣春に関する世論

(1)

一 緒 論

日本の古い賣春史は 詳かでない。(註1) 何世紀にも亘つて賣春は行われていたが、近代の賣春の本質的特質が明確になつたのは1589年のことである。町奉行の賣春婦を取締るために公娼制度が創られたのであるが、当時すでに賣春婦は非常多数に上つてた。公娼は自由に営業すること許されたが密娼は厳禁された。(註二) (註一) ここに記した資料は「婦人の世紀」(1949年1月 第8巻)や「日本娼妓史」(1949年1月 第8巻)を参照せよ。(註二) 本報告書には公娼 娼妓その他に 並びの少ない百歳を用いたが賣春に関する主要な文字句は及ぶよう留意して用いた。(イ) 公娼 法律によつて賣春行爲と許された賣春婦 戦後公娼制度は廃止されたから公娼とは戦前の賣春婦の一階級と指す。(ロ) 密娼 密娼賣婦 不法に賣春を営む者即ち非公娼の者。戦前の制度では密娼は禁じられていた。現在では公娼制度が廃止されたから賣春婦は事実上皆密娼である。(ハ) 遊廓 賣春婦が賣春を行うために集まつてゐる営業所(娼娼) 戦前の制度ではこの営業所は公認されていたが、現在は非公娼である。(ニ) パンパンゴール 戦後の問題。こゝには日本人は「やまの女」「闇の女」等とも云う。公娼制度は人身売買といふ長期契約即ち年契約と云ふやうなもので特殊な性格を持つようになり、300年も文化をくづいたが、1868年の明治維新後漸く少くずつつ変化してきて、年契約を結んだ賣春婦は事実上年間を入れた家の奴隷であつて現実に身分を拘束されたと同時に彼女によつて得られていた。1617年原水に始つてきた公娼が出来日本の賣春史の時代を

賣春に関する世論

目 次

緒 論 (1)
最近日本賣春の特質 (3)
細 査 (4)
調査結果について (5)
第一章 賣春に関する世論 (6)
第二章 罪は何人にあるか (14)
第三章 法律による賣春取締に對する態度 (20)
第四章 賣春等處罰法案に對する態度 (24)
第五章 賣春根絶の希望 (26)
第六章 東京仙台世論の比較 (30)
第七章 男女世論の比較 (44)

附 録

A. 調査方法 (47)
B. 男女サンプルの偏倚について (49)
C. フォクスナーネア (61)

関連年表

- 1945.8 一八日、内務省警保局長、各庁府県長あて進駐軍の性的慰安施設に関する通牒
1945.8 特殊慰安施設協会(R.A.A)協会が設立
1945.8 銀座でR.A.A第一回募集広告「戦後処理の国家的緊急施設、新日本女性を求む」
1945.11 花柳病予防法特別公布。翌月施行
1946.1 総司令部「公娼制度廃止にかんする覚書」。娼妓取締規則の廃止
1946.11 「一般女性に対する不当検束・検診に抗議、女性団体が「婦人を守る大会」
1946.11 警視庁、集娼地域を指定地域として赤線地域の発生
1947.1 勅令第9号「婦女を売淫させた者等の処罰に關する勅令」公布
1948.6 法務府、賣春等処罰法案を第2回国会へ提出。7月、審議未了
1948.7 性病予防法公布
1948.7 宮城県、売淫取締条例施行(全国で初めて)
1948.9 風俗営業取締法施行
1948.9 第2回国会で賣春等処罰法案。審議未了
1949.3 東京都、賣春等取締条例制定の可否に關する公聴会開催。当該女性が發言
1949.4 眞鶴事件。厚生省初の賣春業者告発
1949.5 東京都議会で「賣春等取締条例」可決
1950.8 大田区池上での特設街建設反対運動起る
1950.10 警視庁、都内の街娼(いわゆるパンパン)の大檢舉
1951.6 都内の貧困地帯で起きた少女買春事件。本木事件を神崎清が調査報告
1951.6 山梨県中野村で基地買春事件が問題化。売淫及び風紀取締条例施行
1951.6 新潟県地方検察庁、東京新宿の特殊飲食店主を起訴
1951.11 都内の女性団体80余が「公娼復活反対協議会」結成。勅令第9号の法律化運動
1952.3 福岡県尾尾町特殊飲食店従業員7名が福岡県少年室に救済を求める
1952.6 勅令第9号、参議院を通過。風内法となる
1952.6 基地の買春問題に關して橋岡法など22団体、純潔問題中央委員会を結成。
12月の第15回国会に於て賣春処罰法案制定促進委員会に改称
1952.6 広島市の新特設街建設に市民の反対運動が高まる
1953.3 第15回国会参議院に「賣春等処罰法案」を議員立法として提出。審議未了
1953.3 第16回国会参議院法務委員会に賣春対策小委員会が設けられる
1953.11 宮崎県で若者幹旋会社新設に對して地元女性団体が反対運動
1953.12 賣春問題対策協議会を内閣に設置することに決定
1954.2 賣春禁止法制定促進委員会主催の賣春禁止法制定期成全国婦人大會
1954.4 賣春等処罰法案、議員立法として第19回国会衆議院に提出。12月廃案
1954.8 鹿児島県で土産業者が贈賄のため高校生を含む23人の女性に賣春を行わせたことが発覚(松元事件)
1954.12 賣春等処罰法案、第21回通常国会に再提出。翌月審議未了
1955.4 大田区で若者置屋に賣買された少女が逃亡
1955.4 賣春等処罰法案、議員立法として第22回国会衆議院法務委員会に提出
1955.6 賣春問題対策協議会小委員会開催
1955.6 熊本県水俣市の特設店「丸吉」の従業員女性が脱出し前借金は無効を訴える
1955.8 全国接客女子従業員組合連盟結成
1956.3 全国女性病予防自治会総決起大會。売淫防止法反対の全国運動実施を決定
1956.4 賣春禁止法、政府から第24回国会に提出。21日成立。24日公布
1956.5 賣春婦女保護更生対策協議会結成
1956.6 賣春禁止法制定促進委員会を改組して賣春対策国民協議会が発足
1957.4 賣春防止法一部施行。総則及び保護更生関係規定
1957.10 全国性病予防自治会から自民党議員への「賣淫汚職事件」
1958.4 賣春防止法、全面施行。処罰規定も

女性の権利の問題として 捉えなおすために

角田由紀子

売春という事柄の捉え方が、買春の側面を前面に押し出し、さらにそれは女性に対する暴力であるとの新しい視点が獲得されてから、まだ日が浅い。この新しい視点から売春防止法の制定に動いた時代を振り返って見ることは、この法律の問題点を理解するのにきわめて有益であろう。

今ではさすがに、売春が「転落」や「更生」という言葉で語られることは少なくなっているとしても、私たちが買売春を語るとき、その視線はどこに向いているのだろうか。売春防止法の欠陥が語られるが、今、私たちはどのような位置でその欠陥を認識しているのだろうか。問題の根源を捉えるには無力な法律であるのに、改正が実現しない現実を生み出しているのは、買売春があまりにも日常化した結果なのか、私たちの内なる差別意識のせいなのか、私たちの鈍感した人権感覚のなせる業であるのか、おそらくはそれらの総体であろうが、そのことが改めて問われねばならない時期に来ていることは確かだ。

買売春を女性の権利侵害の問題として、それを引き起こしているこの社会の構造に深く徹底的にメスを入れることが必要だ。それは必然的に私たちの立つている地点を揺るがすことになる。それゆえ、私たちはこの問題と真正面から向き合うことを避けている。しかし、それを避け続けることは、主観的な善意にとらわれていた法律制定当時の女性運動の轍を踏むことになる。

制定当時におそらく一番欠けていたのは、当事者の女性たちの声に謙虚に耳を傾けることであつたらう。今でも買春ないし売春を論じる時、私たちは、彼女たちとは違った安全地帯に身を置いたままではないだろうか。それでは、この問題はどこまで行っても、「私の問題」にはなりようがない。問題の所在とその解決策について最もよく知っている当事者女性たちの声がどのように聞かれ、あるいは聞かれなかったのかを、またそれはなぜ起こったのかを、これらの資料が教えてくれる。それこそが、「私の問題」としてこの本質を掴み、私たちが次のステップを踏み出すために不可欠なことだ。

つのだゆきこ ● 弁護士・明治大学法科大学院教員・
女性の安全と健康のための支援教育センター代表理事

米軍駐留下における 女性への性暴力、買売春、 そして女性の生きた歴史を写し出す鏡

高里鈴代

敗戦そして連合軍占領という事態に直面した日本では、それまで自国軍兵士の戦意高揚、性病予防を目的とした軍隊「慰安婦」政策に習い、進駐軍に女性を提供する「R.A.A協会」が「良家の子女を守る」ためにすばやく設立された経緯がある。しかし、駐留軍兵士による女性の拉致、強姦は凄まじい数に及び、貧困と性暴力から無数の女性たちが各地の基地売春に押し出されていったのが私たちの戦後のスタートであった。

この資料集は、このような時期の特に基地と女性、子どもの状況、暴力、貧困、差別や偏見、行政の処遇や対策、法令などを網羅している点では、米軍駐留下における女性への性暴力、買売春、女性の生きた歴史を写し出す鏡といえるだろう。

戦前から根強く続いた娼娼運動、戦後の女性の参政権と女性議員の誕生、新憲法を背景に、ついに一九五六年に売春防止法が制定された。しかし、同法は女性を人身売買と強制管理売春の下から解放する人権宣言の性格を持つ反面、社会秩序を乱す、公序良俗を侵す者として女性を犯罪者(五条違反)に留める二重基準を持ち、他方買春者は全く不問にしたいわゆる片罰法、ザル法となった。この法律の抱える矛盾は、性暴力、売買春、セックスワーカーなどの捉え方、そして今日の性産業の繁栄にも深く繋がっている。

日本の終戦日より五ヶ月早く米軍の上陸で女性への暴力が始まった沖縄に関連する資料は、本資料集には米軍政府特別布告「占領軍への娼業禁止」など僅かしかないが、本土の売春防止法以前の社会が一九七二年まで継続したことを知る上でも有効といえる。

この資料集は、まさに女性の性暴力、人権問題を写し出す鏡であり、特に、戦後時代をジェンダーの視点で読み解く作業を志す方々に薦めたい。

たかさかずよ ● 基地・軍隊を許さない行動する女たちの会共同代表

収録予定資料名抄 ● 編者名 ● 発行年月

*件数が膨大なため資料の一部を抄録しました。

第1巻

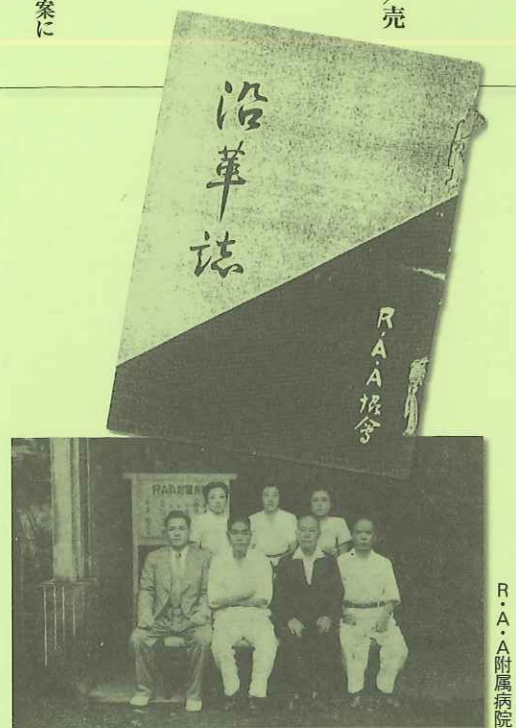
- 親愛なるマッカーサー元帥閣下へ。一九四六
- 純潔教育の実施について(発社)号/私娼の取締並びに発生の防止及び保護対策(昭和二十一年十一月十四日次官會議決定) 文部省社会教育局長。一九四七
- 純潔教育委員会規程案/純潔教育委員会委員。一九四七
- 性病診療所設置の件(知事事務引継書) (大阪府)衛生部予防課。一九四七
- 財団法人日本基督教婦人矯風会案内。一九四七
- 財団法人日本基督教婦人矯風会寄附行為。一九四七
- 財団法人日本基督教婦人矯風会寄附行為。一九四七
- 純潔教育委員会委員に対する問合せ 回答綴 原文兵衛・高島栄峰・花木チサオ・大山正・久布白落美・山室民子・久慈直太郎・植村益蔵・寺本慧達・伊藤秀吉・安藤画一・千本木通子・寺中作雄。一九四七
- 風俗犯捜査要領 黒沢長登。一九四七
- 風俗営業取締法解説(風俗営業取締法解説・警察官等職務執行法解説) 本田正義。一九四八
- 風俗営業取締法解説(附)興行場法、公衆浴場法、旅館業法 編 新警察社編集部。一九四八
- 要領書/「売春等処罰法案」に対する建議書について/売春等処罰法案に対する建議書(婦人関係資料第6号) 婦人少年問題審議会々長ほか。一九四八
- 売笑制度の研究 滝川政次郎。一九四八
- 売春に関する世論(秘) 国立世論調査所。一九四九
- 売春等取締条例制定の可否に関する公聴会速記録 東京都議会議事委員会。一九四九
- 東京都議会議事委員会。一九四九
- 売春行為の真相(社会問題の研究) 日本基督教団社会部。一九四九
- R・A・A協会沿革誌 編 発行 坂口勇造。一九四九
- 世論調査報告書 風紀に関する世論調査 売春等処罰法案に対する 国立世論調査所。一九四九

第2巻

- 肉体の白書 吉原病院記録 雪吹周/装幀 岡村夫二。一九四九
- 街娼 実態とその手記 編 竹中勝男・住谷悦治/根本貴志雄・荻野恒一・鈴木義郎・杉本直人 作田啓二・大塚達雄・小倉要一・豊田慶治・望月敏。一九四九
- 売笑なき国へ 神崎清 装幀 高橋忠弥。一九四九
- 京都地区における街路娼の実態 調査報告書 財団法人京都府社会福祉協会・京都府社会福祉研究所。一九四九
- 売春関係資料(婦人関係資料第13号 一般資料No.1) 労働省婦人少年局。一九五〇
- 年少労働者の人身売買調査報告書(第二回) 労働省婦人少年局年少労働課。一九五〇
- 街娼の社会学的研究 渡辺洋二。一九五〇
- 調査表(富橋美善)。一九五〇
- 業務状況昭和二十六年分 神奈川県婦人更生相談所。一九五〇
- 人身売買及び他人の売淫から利益を得ることを禁止するための条約(第 稿) 条約局国際協力課。一九五〇
- 最近における年少者のいわゆる人身売買事件について(第三回報告) 労働省婦人少年局年少労働課。一九五〇
- 婦人のてん落を防ぎましょう 神奈川県。一九五〇

第3巻

- 煉獄に咲く花(ポスター)。一九五二
- 私はあなたの味方です(ポスター)。法務府人権擁護局。一九五二
- 婦人更生相談所に於ける性行不良児の実態 高橋美善。一九五二
- 全国における売春取締条例の施行状況(附違反事件統計) 売春取締関係資料集。法務府検務局。一九五二
- 娘を売る町 神崎レポート 神崎清/装幀 岡村夫二。一九五二
- 「人身売買及び他人の売淫の利用の禁止に関する条約」への日本の加入招請について。一九五二
- いわゆる人身売買対策要綱 中央青少年問題協議会。一九五二
- 人身売買に関する照会の回答について(法務府渉連第二号) 法務総裁官房長。一九五二
- 女子及年少者の人身売買に関する報告書 行政監察特別委員会。一九五二
- 赤線地区とは何か 縦横から見た問題の実態 纂 藤林堂正/加藤道子 野本与喜雄 成川敏 中村三郎 与謝野光 市川篤二 藤林堂正 山口正義。一九五二
- 売春問題について 婦人問題会議記録(婦人関係資料第36号) 労働省婦人少年局/神崎清・高橋貞照・江上フジ 原口健二 江尻美雄・上村貞一 河崎ナツ 藤田たけ 田中寿美子。一九五二
- 工藤誠爾・久布白落美・市川厚枝・林雅代。一九五二
- 神奈川県婦人保護事業関係資料 神奈川県民生部保護課。一九五二
- 終戦後の日本基督教婦人矯風会。一九五二
- 売春問題の対策について 婦人少年問題審議会婦人問題部会記録(婦人関係資料第19号) 労働省婦人少年局/神崎清・高橋貞照・江上フジ 原口健二 江尻美雄・上村貞一 河崎ナツ 藤田たけ 田中寿美子。一九五二
- 既婚売春婦の実態調査 高橋美善。一九五二
- 何ゆえの紅い灯か? 米国における組織的売春への反証(参考資料第21号) 労働省婦人少年局。一九五二
- 売春に関する資料 売春関係年表と文献目録(婦人関係資料第17号) 一般資料第17号 編 労働省婦人少年局。一九五二
- 売春関係判例集(婦人関係資料第7号) 労働省婦人少年局。一九五二
- 軍都と歡樂の北の街チトセ 第二回日教組全国教育研究大会第五分科会「児童、生徒、学生をめぐる社会環境の実態とその対策」 千葉誠。一九五二
- 混血児 高崎節子/序 平林たい子 神崎清/装幀 おかむらじ。一九五二



R・A・A 附属病院

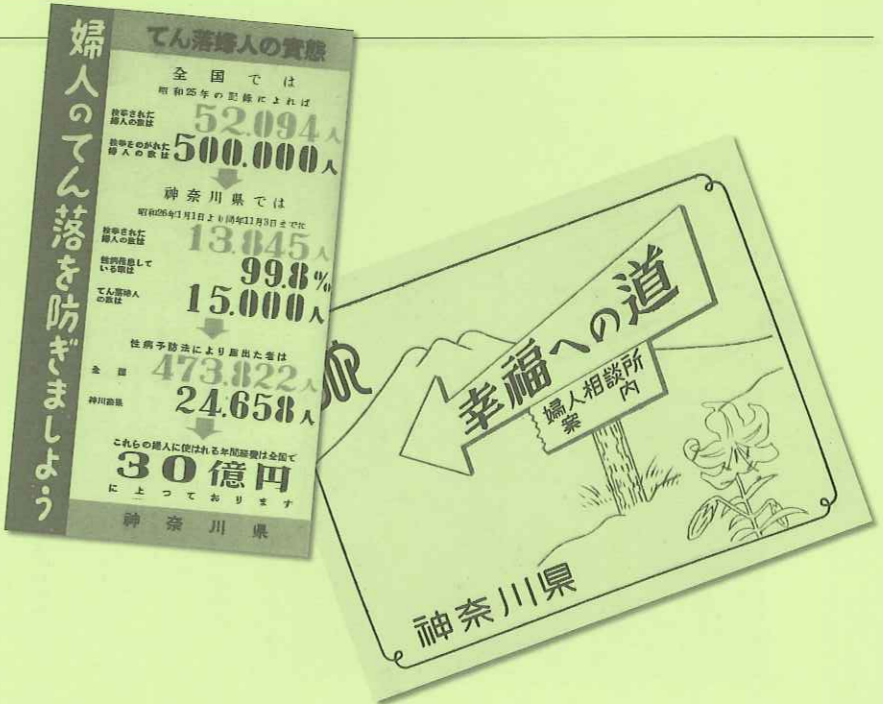
第4巻

- 婦人福祉対策
 - 全国社会福祉協議会連合会・婦人福祉連絡協議会・全国婦人福祉施設連合会 一九五二・二
 - 社会福祉行政資料 厚生省・全国社会福祉協議会連合会 一九五二・二
 - 続売春婦に関する調査3題 高橋美香 一九五二・二
 - 性病予防講演会講演要旨
 - 神奈川県性病予防委員会/渡辺熊雄・中原竜之助・篠田倫三 一九五二・二
 - 婦人福祉施設逃走についての調査/売春婦の宗教について/欧米に於ける婦人福祉対策関係のわが国への影響年表 高橋美香 一九五二・二
 - 戦争未亡人と戦災孤児の売春婦転落状況について 高橋美香 一九五二・二
 - 幸福への道 婦人相談所案内 神奈川県 一九五二
 - 売春に関する法令(売春等処罰法案に関する資料(一))
 - 参議院法務委員会専門員室 一九五二・二
 - 軍事基地をめぐる子どもの問題 資料 | 日教組主催 第二回全国教育研究大会ならびに第二回婦人教員研究協議会の報告書より 日本子どもを守る会 一九五二・二
 - われわれは軍事基地下の圧迫に対してどのように抵抗したか 第二回婦人教員研究協議会 第二分科会研究報告書(平和をめざして婦人教師の使命 中原ゆき子 一九五三・一)
 - 豊岡ジョンソン基地の教育研究資料 小島雄 一九五三・一
 - 年少者の特殊雇用慣行 いわゆる人身売買の実態
 - 編 労働省婦人少年局 はしがき 藤田たき 一九五三・二
 - 売春問題の対策に関する答申書 婦人関係資料シリーズ 一般資料第19号 労働省婦人少年局 一九五三・二
 - 売春のない日本に 伊藤秀吉 一九五三・二



第7巻

- 売春問題に関する動き昭和二十八年二月以降 一九五三・二
- 売春取締法案対策綱領(案) 全国性病予防自治会本部 一九五三・二
- 人身売買及び他人の売いの利用の禁止に関する質問書に対する回答提出の件(国連第六四号)
 - 在ニューヨーク国際連合日本政府代表特命全權大使 一九五三・二
 - 職場の記録 高橋美香 一九五三・二
 - 売春婦の性生活 雪吹周/装幀 白石豊 一九五三・二
 - 売春関係法令集 京都市会調査課 一九五三
 - 街娼問題に関する一考察 売春婦と性病(資料No.2) 近藤正一 一九五四・一
 - よしわら 娼妓文集
 - 編 大河内昌子/序にかえて 大河内昌子/装幀 鈴木清 一九五四・一
 - 売春問題対策協議会第一回総会における諸方国務大臣挨拶 一九五四・一
 - 犬養法務大臣挨拶(昭和二十九年一月六日売春問題対策協議会における) 一九五四・一
 - 売春問題対策協議会第一回総会における刑事局長経過説明 一九五四・二
 - 売春問題対策協議会委員候補 一九五四・二
 - 売春等取締法 一九五四・二



第5巻

- 年少者のいわゆる人身売買事件について 第四回報告
 - 労働省婦人少年局 少年労働課 一九五三・三
 - 売春等処罰法案 一九五三・三
 - 売春に関する統計(売春等処罰法案に関する資料(2))
 - 参議院法務委員会専門員室 一九五三・三
 - かなしき女人群像 更生相談事例から拾う 高橋美香 一九五三・三
 - 日本の貞操 外国兵に犯された女性たちの手記 編 水野浩 一九五三・三
 - 滝川教授の意見(売春等処罰法案に関する資料(五)) 滝川政次郎 一九五三・三
 - 婦人更生相談所に於ける性行不良児の実態 日米行政協定調印一周年間の婦人福祉関係抄 高橋美香 一九五三・三
 - 駐留軍地域周辺における児童福祉対策について (厚生省児童局) 一九五三・五

第8巻

- 地方の婦人福祉施設の実情及びその地域における売春問題の実態報告書 全国婦人福祉施設連合会 一九五四・四



- 今後の活動方針 (売春禁止制定促進会) 一九五三・五
- いわゆる人身売買とその関係法規の研究(検察研究資料第63号) 木宮高彦 一九五三・六
- 人身売買及び売春その他搾取行為の禁止に関する国際連合事務総長からの質問書に対する回答について(国警本部発刊第九号) 国家地方警察本部次長 一九五三・六
- 基地の女 西田稔/装幀 もり・まなぶ 一九五三・六

第6巻

- 風紀に関する世論調査
 - 労働省婦人少年局 総理府国立世論調査所 一九五三・七
 - 売春に関する法令(婦人関係資料シリーズ法規関係第九号) 労働省婦人少年局 一九五三・七
 - 神奈川県婦人保護事業の概要 神奈川県民生部保護課/はしがき 桑名精二 一九五三・八
 - 全国性病予防自治会指導要綱 全国性病予防自治会 一九五三・八
 - 売春等処罰法に関する従来の動き 一九五三・八
 - 夜の基地 神崎清/写真 田村茂・渡部雄吉・影山光洋/装幀 もり・まなぶ 一九五三・九
 - 売春婦並びにその相手方についての調査(婦人関係資料シリーズ調査資料No.12) 労働省婦人少年局 一九五三・九
 - 風紀についての世論(婦人関係資料シリーズ調査資料No.11) 労働省婦人少年局 一九五三・九
 - 売春をなくすためにパンフレットNo.26 労働省婦人少年局 一九五三・九
 - 売春に関する資料(婦人関係資料シリーズ一般資料第二号) 労働省婦人少年局 一九五三・〇
 - 各国における売春対策改訂版 婦人関係資料シリーズ国際資料No.25 労働省婦人少年局 一九五三・〇
 - (パンフレット送付) 全国婦人福祉施設連合会幹事 一九五三・〇
 - 基地に於ける風紀問題は如何に解決すべきか 高橋美香 一九五三・〇
 - 売春婦の覚醒剤中毒症状について 高橋美香 一九五三・〇
 - 統 日本 貞操 編 五島勉/北村余彦子 一九五三・二
 - 人身売買及び他人の売淫から利益を得ることの禁止に関する国連の質問書に対する回答を国連事務総長へ提出の件(協一第七号) 外務大臣 一九五三・二
 - 昭和二十二年勅令第九号第一一条の「婦女に売淫させることを内容とする契約」についての判例(売春対策に関する資料(三)) 参議院法務委員会専門員室 一九五三・二
 - 売春婦の親許調査報告書 山形 鹿兒島(婦人関係資料シリーズ参考資料No.27) 労働省婦人少年局 一九五四・四
 - 青だち 更生相談失敗事例6題 高橋美香 一九五四・五
 - 日本売春取締考附日本売春婦異名考(日本売春史第二巻) 中村三郎 一九五四・八
 - 売春等取締に関する立法例 資料 一九五四年第二号) 性問題研究会 一九五四・〇
 - 売春に関する諸問題 婦人関係資料シリーズ一般資料第五号) 編 労働省婦人少年局/神崎清・式場隆二郎・那須宗・高橋明・西塚静子・山室民子・望月衛・泉靖・平林たい子 一九五四・〇
 - 人身売買及び売春関係諸国刑法規定集(法務資料三三七号) 法務大臣官房調査課 一九五五・三
 - 赤線区域調査報告書(秘) 婦人関係資料シリーズ参考資料第31号) 労働省婦人少年局 一九五五・三
 - 年少者の不当雇用慣行 実態調査報告(九州編) 労働省婦人少年局/はしがき 藤田たき 一九五五・三
 - 戦後新たに発生した集娼地域における売春の実情について 結果概要(婦人関係資料シリーズ参考資料No.33) 労働省婦人少年局 一九五五・六
 - 婦人福祉施設における更生実例 全国婦人福祉施設連合会 一九五五・六
 - みんなが見ている前で 藤原審爾/表紙 東郷青児/カバー 鶴岡政男 一九五五・八
 - 売春 この実態をどうしたらいいか 神崎清 一九五五・八
 - 売春に関する法令改訂版(婦人関係資料シリーズ法規関係第二号) 労働省婦人少年局 一九五五・八
 - 衆議院法務委員会における売春等処罰法案審議要点 参議院社会労働委員会調査室 一九五五・九
 - いわゆる売春問題対策について 売春問題対策協議会会長 一九五五・九
 - 売春に関する資料 参議院社会労働委員会調査室 一九五五・九
 - 第二十二特別国会売春問題附現行売春等取締法令・条例 推名隆 一九五五・九
 - 売春婦の前借金取扱いについて(編第九三三四号の二 婦第九三三三四号の二) 労働省婦人少年局 一九五五・九
 - 黒い風の中を 北満に散った女学生部隊の悲録 榎本捨三 一九五五・九

第9巻

- 戦後新たに発生した集娼地域における売春の実情について 結果概要(婦人関係資料シリーズ参考資料No.33) 労働省婦人少年局 一九五五・六
- 婦人福祉施設における更生実例 全国婦人福祉施設連合会 一九五五・六
- みんなが見ている前で 藤原審爾/表紙 東郷青児/カバー 鶴岡政男 一九五五・八
- 売春 この実態をどうしたらいいか 神崎清 一九五五・八
- 売春に関する法令改訂版(婦人関係資料シリーズ法規関係第二号) 労働省婦人少年局 一九五五・八
- 衆議院法務委員会における売春等処罰法案審議要点 参議院社会労働委員会調査室 一九五五・九
- いわゆる売春問題対策について 売春問題対策協議会会長 一九五五・九
- 売春に関する資料 参議院社会労働委員会調査室 一九五五・九
- 第二十二特別国会売春問題附現行売春等取締法令・条例 推名隆 一九五五・九
- 売春婦の前借金取扱いについて(編第九三三四号の二 婦第九三三三四号の二) 労働省婦人少年局 一九五五・九
- 黒い風の中を 北満に散った女学生部隊の悲録 榎本捨三 一九五五・九

第10巻

- 売春に関する資料改訂版(婦人関係資料シリーズ(一般資料第三号))
● 労働省婦人少年局。一九五五・〇
- 接客婦従業員組合を作りましょう(統制委員会資料)
● 一九五五・〇
- 戦後新たに発生した集娼地域における売春の実情について
(婦人関係資料シリーズ調査資料No.16) ● 労働省婦人少年局。一九五五・二
- 続・みんなが見ている前で
● 藤原審判/表紙Ⅱ東郷青児/カバール鶴岡政男。一九五五・二
- 私は堪えられない 脱出売春婦6人の手記
● 後藤フミ/他/序Ⅱ神近市子/カバール毛利かほる/表紙Ⅱ鶴岡政男
● 一九五五・二
- 売春風俗史 原浩三/カバール山本武夫/表紙Ⅱ東郷青児。一九五五・二
- 素顔 特設店従業員の手記
● 編Ⅱ大河内昌子/装幀、カットⅡ鈴木清。一九五五・二
- 売春等の防止及び処分に関する法律案要綱(第四次案)
● 一九五六
- 東観資料第2号 東京保護観察所調査連絡課資料調査係。一九五六・二
- 東観資料第3号 売春の経験がある者の保護観察について
● 東京保護観察所調査連絡課資料調査係。一九五六・三
- 売春関係相談指導業務における問題点(婦人関係資料シリーズ
参考資料第二号) ● 労働省婦人少年局。一九五六・三
- 売春に係る処罰・保安処分及び更生保護に関する法律案
● 日本社会党婦人部。一九五六・三
- 婦人少年室協働員及び婦人問題相談員規程(労働省訓令第五
号) ● 一九五六・三
- 婦人議員名簿(売春禁止法制定促進委員会資料) ● 一九五六・三

第11巻

- 売春等の防止及び処分について(売春対策審議会会長。一九五六・四)
- 『接客女性』第1号14号
● 全国接客女子従業員組合連盟新聞。一九五六・四
- 国民募金(売春対策国民協議会) ● 一九五六・四
- 売春防止法案(資料第14号)提出政府案。一九五六・五
- 売春禁止法制定貫徹全国大会
● 売春禁止法制定促進委員会。一九五六・五

第13巻

- 売春取締 都府県条例12(売春対策国民協議会資料・別紙)
● (売春対策国民協議会) ● 一九五七・三
- 旅館業法新旧対照表(売春対策国民協議会資料) ● 一九五七・三
- 第九回実行委員会報告(売春対策国民協議会) ● 一九五七・三
- 売春対策国民協議会開催について(急報) ● 売春対策国民協議
開催要綱。一九五七・三
- 売春に関する資料第二号(婦人関係資料シリーズ(一般資料第三六号))
● 労働省婦人少年局。一九五七・三
- 売春対策国民協議会会長。一九五七・三
- 売春防止法の一部を改正する立法案(保安処分)要綱(勝尾私案)
(売春対策国民協議会資料三・四・A) ● 法務省刑事局。一九五七・三
- 売春防止法第五条の罪を犯した(他の犯罪と競合する場合を除
く)成人の女子に対する保安処分に関する問題点(売春対策
国民協議会資料三・四・B) ● 法務省刑事局。一九五七・三
- 資料(売春対策国民協議会資料三・四・C) ● 法務省刑事局。一九五七・三
- 赤線従業婦のみさんへ(案) ● 売春対策国民協議会。一九五七・三
- 国際産娼協会主催第廿回世界会議について(売春対策国民協議
会資料) ● 法務省刑事局総務課長。一九五七・三
- 売春に関する国際条例(売春対策国民協議会資料) ● 一九五七・三
- 売春問題メッセージ ● 売春対策審議会会長。一九五七・三
- 決議 ● 売春対策国民協議会。一九五七・三
- 国会議員との懇談会(売春対策国民協議会) ● 一九五七・三
- 売春対策国民協議会加盟団体名簿。一九五七・三
- 売春対策関係資料 ● 売春対策審議会。一九五七・三
- 婦人保護事業の手引 富山県厚生部社会福祉課/はしがきⅡ小俣宗
太郎。一九五七・四
- 旅館業法改正案及び提案理由説明(売春対策国民協議会資料)
● 一九五七・四
- 売春ホテル 中村登志。一九五七・四
- 売春防止法の一部改正に関する要望書
● 売春対策国民協議会副会長。一九五七・四
- 売春防止法一部改正についての要望書

- こんどこそ通そう売春禁止法
● 売春禁止法制定促進委員会。一九五六・五
- オンリーの貞操帯 何が彼女たちに生ませたか
● 西田稔/表紙Ⅱ宗肇。一九五六・五
- 保護更生に関する陳情書
● 全国接客女子従業員組合連盟。一九五六・五
- 推薦状 ● 売春対策国民協議会会長。一九五六・五
- 売春防止法と矯風会 日本基督教婦人矯風会京都支部。一九五六・六
- 趣旨書(案) ● 規約(案) ● (売春対策国民協議会) ● 一九五六・六
- 警察隠語類集
● 編Ⅱ警視庁刑事部/序文Ⅱ小杉平一/あとがきⅡ上村貞一。一九五六・七
- 春情 ● 売春防止法案に関する議事録抜萃 附録(売春と性病)
● 近畿大学時事問題研究所/まえがきⅡ世耕弘。一九五六・七
- 日本花街志第3巻 情怨百年史/紋章の研究
● 加藤藤吉。一九五六・七
- 売春
● 編Ⅱ有泉亨・田藤重光/藤原道子・宮城タマヨ・勝尾録三・神崎清・伊藤牧
夫・久布白オチミ・瀬川八十雄・大浜英子・山室民子・藤田たき・平林たい子
・神近市子。一九五六・七
- 欧米より帰って(売春状態実地報告) ● 久布白オチミ。一九五六・七

第12巻

- 東観資料No.7 売春対策について 東京保護観察所。一九五六・八
- 売春婦更生保護相談調査統計表No.1-1 No.1500
● 更生保護相談室。一九五六・八
- 売春防止特別活動実施要領 ● 労働省婦人少年局。一九五六・八
- 売春防止法ができました みんなで二日も早く売春のない
日本をつくりましょう(婦人少年局ポスターNo.23) ● 労働省。一九五六・九
- 要望書 ● 売春対策国民協議会。一九五六・九
- 社会悪防止協会の趣意書。一九五六・一〇
- 売春防止法の円滑な施行を期するための行政措置要綱
(売春対策国民協議会資料) ● (売春対策国民協議会) ● 一九五六・一〇
- 売春防止法完全実施要求国民大会
● 売春対策国民協議会。一九五六・一〇
- 大会宣言(案) ● 売春防止法完全実施要求国民大会。一九五六・一〇
- 決議 ● 売春防止法完全実施要求国民大会。一九五六・一〇
- 売春対策国民協議会運動方針。一九五六・一〇
- 第一回実行委員会報告(売春対策国民協議会) ● 一九五六・一〇
- 売春対策国民協議会趣意書。一九五六・一〇
- 国民募金報告(売春対策国民協議会) ● 一九五六・一〇

- 全国各地婦人団体連絡協議会理事長 日本基督教婦人矯風会会長 日本大学
婦人協会会長 日本婦人平和協会会長 日本婦人有権者同盟会長。一九五七・四
- 第十回実行委員会報告(売春対策国民協議会) ● 一九五七・五
- 売春防止法の一部を改正する法律案(矯正処分)要綱第七次案
(売春対策国民協議会資料No.4) ● 一九五七・五
- 街娼記―蝕める肉体の挽歌 市川汀/装幀Ⅱ西尾善積。一九五七・五
- 各地方の状況(売春対策国民協議会資料No.5)
(売春対策国民協議会) ● 一九五七・五

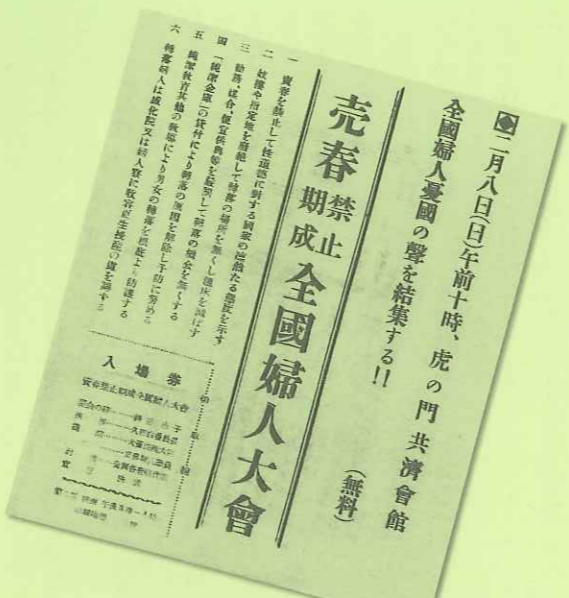


1945年10月から「慰安所」として使用された「蜂乃窩」(東京・品川区大井海岸)

- 「売春防止法の円滑な施行を期するための行政措置要綱」
に関する要望書/予算措置に関する要望書
● 売春対策国民協議会会長。一九五六・二
- 匪賊と共に―チチハル脱出記
● 三上綾子/表紙Ⅱ大森忠行。一九五六・二
- 五十年の歩みと五十日の旅
● 久布白オチミ/更生保護についてⅡ竹田信子。一九五六・二
- 陳情書 ● 売春対策国民協議会会長。一九五六・二
- サヨナラ人間売買 編Ⅱ神近市子/装幀Ⅱ池田竜雄/平林たい子 伊
藤秀吉・瀬川八十雄・久布白落実・正木亮。一九五六・二
- 売春防止法とはどんな法律か
● 山本嘉盛/序Ⅱ牧野良三・村岡花子。一九五六・二
- 第四回実行委員会報告(売春対策国民協議会) ● 一九五六・二
- 「婦人保護施設未設置県へ設置を求める運動への呼びかけ」
● (矯風会)純潔部長・厚生部長。一九五六・二
- 女の組合 高橋涉/装幀Ⅱ池田竜雄。一九五六・二
- 要望書 ● 売春対策国民協議会会長。一九五六・二
- 売春防止法の円滑な施行を期するための行政措置につ
いての次官会議決定(売春対策国民協議会資料)
● (売春対策国民協議会) ● 一九五六・二
- 婦人の生活を明るくするため婦人相談員が配置されまし
た(ポスター) ● 東京都福祉事務所。一九五六
- 特殊飲食店街における売春問題実態調査第一輯 岡山県民生
労働部婦人児童課/序文Ⅱ岩佐喜久枝。一九五七・一
- 第五回実行委員会報告/北海道冷害視察資料
● (売春対策国民協議会) ● 一九五七・一
- 婦人相談員名簿 街娼昭和32年度(神奈川県川島婦人相談所) ● 一九五七・一
- 第七回実行委員会報告/売春対策に必要な経費増額要求
運動(行か) ● (売春対策国民協議会) ● 一九五七・二
- 売春対策に必要な経費/旅館業法改正の眼目(売春対策国民
協議会資料その1)その2 ● (売春対策国民協議会) ● 一九五七・二
- 各都道府県婦人団体の皆様
● 売春対策国民協議会会長。一九五七・二
- 趣意書/本日の議題(売春対策国民協議会資料)
● 代々木原宿旅館組合。一九五七・二
- 売春関係予算審議に際しておおながい/売春対策に必要な
経費増額についての要望書 ● 売春対策国民協議会会長。一九五七・二
- 第八回実行委員会報告/婦人相談所婦人保護施設開設に
ついての資料(売春対策国民協議会資料)
● (売春対策国民協議会) ● 一九五七・二

第14巻

- 売春問題に関する世論調査
● 内閣総理大臣官房審議室。一九五七・六
- 第十一回実行委員会報告(売春対策国民協議会) ● 一九五七・六
- 業者の転廃業状況調査 厚生省社会局生活課。一九五七・六
- 第十二回実行委員会報告(売春対策国民協議会) ● 一九五七・七
- 女の防波堤 田中貴美子/序Ⅱ鈴木清。一九五七・八
- 決議/申合せ ● 売春対策国民協議会。一九五七・八
- 自由民主党風紀衛生対策特別委員会委員の皆様
● 売春対策国民協議会会長。一九五七・八
- 全国矯風会の同志へ(矯風会)純潔部長・厚生部長。一九五七・八
- 売春防止法の一部を改正する法律案(補導処分等)要綱案(骨子)
● 婦人補導院要綱案(売春対策国民協議会資料No.6) ● 一九五七・八
- 日本娼妓の研究(1)民族科学誌第6巻2・3号
● 池見猛。一九五七・九
- 第十四回実行委員会通知 ● (売春対策国民協議会) ● 一九五七・九
- 檻の中の女たち 辻川喜之助。一九五七・九
- 「鳥取県に婦人保護施設を設置する運動への呼びかけ」
● 基督教婦人矯風会山陰部会副会長・評議員。一九五七・九



第十四回実行委員会報告／婦人相談所、婦人保護施設未設置県。(売春対策国民協議会)一九五七・九

陳情書。(鳥取県女性団体)一九五七・九

一九五〇年の「人身売買及び売淫強要の禁止に関する国際条約」に関する件(協約第一八九六号)・外務事務次官。一九五七・九

〔風紀衛生対策特別委員宛通知〕

●売春対策国民協議会会長。一九五七・九

●売春対策審議会資料。売春対策審議会。一九五七・一〇

●大阪府売春防止対策事業概要(資料)

●編。大阪府民生局福祉課。一九五七・一〇

●声明書。日本婦人有権者同盟副会長。一九五七・一〇

●会告。売春対策国民協議会会長。一九五七・一〇

一九五〇年の「人身売買及び売淫強要の禁止に関する国際条約」に関する件(協約第三三三三号)・外務大臣。一九五七・一〇

●危険な毒花。常盤とよ子／写真レアウト堀内誠。一九五七・一〇

●第十五回実行委員会報告／売春対策に必要な経費(売春対策国民協議会資料No.8)。(売春対策国民協議会)一九五七・一〇

●売春問題相談業務報告書(婦人関係資料シリーズ「一般資料No.40」)

●労働省婦人少年局。一九五七・一〇

第15巻

「人身売買及び売淫強要の禁止に関する条約」一九五七・二

みんなの力で売春をなくしましょうそして明るい世の中に

●売春対策国民協議会。一九五七・二

●決議。売春防止法完全実施売春汚職追求め国民大会。一九五七・二

●更生しましょう。明るい生活が待っています

●売春対策国民協議会。一九五七・二

「人身売買及び売淫強要の禁止に関する条約」に関する件(協約第四七九四号)・外務事務次官。一九五七・二

●売春業者転廃に関する要望書

●売春対策国民協議会会長。一九五七・二

●大阪と売春。大阪を中心とした売春を取り巻く諸問題について(資料)。(大阪府民生局福祉課)一九五七・二

「人身売買及び売淫強要の禁止に関する条約」打合せ会。一九五七・二

●日本娼妓の研究(2)(民族科学誌第6巻4号)・池見猛。一九五七・二

第三回実行委員会報告書。(売春対策国民協議会)一九五八・七

●人身売買及び他人の売春からの搾取の禁止に関する条約の公布に関する件(条約第八九七号)・外務大臣。一九五八・七

●あゆみ。婦人相談員の手記。中込鶴子。一九五八・七

●売春婦の転落原因と更生の問題(婦人関係資料シリーズ「調査資料No.25」)

●労働省婦人少年局。一九五八・七

●婦人保護施設入所状況調。一九五八・八

第17巻

芸妓についての概要。長野県婦人相談所。一九五八・九

●風俗営業取締法の一部を改正する法律案についての資料

●警視庁。一九五八・九

●売春と人身売買の構造。前田信一郎。一九五八・九

●第五回実行委員会報告書。(売春対策国民協議会)一九五八・九

●売春に関する資料第二号(婦人関係資料シリーズ「一般資料第四号」)

●労働省婦人少年局。一九五八・九

●第六回実行委員会報告書。(売春対策国民協議会)一九五八・一〇

●性的社会病理。日本の売春にみるもの

●磯村英／装幀。山本正。一九五八・一〇

●第七回実行委員会報告書。(売春対策国民協議会)一九五八・一〇

●高知県婦人保護事業の概況。高知県婦人相談所。(一九五八)

●松島新地誌

●編。牧村史陽、田辺。／発刊の辞。金沢甚左衛門／上梓に当って。日下清

／カメラ。芝原芳雄、秋田米倉／題字。金沢甚左衛門。一九五八・一

●婦人相談員(愛すること)とくさる(こと)第(一)巻

●監督。木村荘十二／脚本。木村荘十二、佐野美津男／製作。山高しげり、村山英治／監修。厚生省。(一九五八)

●「売春防止映画について」。

●厚生省社会局生活課長。一九五八・一

●第八回実行委員会報告書。(売春対策国民協議会)調査立法参考局

●社会部社会厚生課。一九五八・一

戦場のなでしこ。還らぬ天使たち

●原田みち子／序。松田常雄。一九五七・二

●第十七回実行委員会報告／未設置県調べ／会計報告

●(売春対策国民協議会)一九五七・二

●ここに穴あり。売春の生態解剖と転落女性はだか記

●片庭王子夫／序。神崎清、久布白オチミ。一九五七・二

●女とMP。山口ナナ。一九五七・二

●売春防止に関する資料1958

●神奈川県売春防止対策本部。一九五八

●売春対策予算獲得緊急全国大会

●(売春対策国民協議会)一九五八

●売春対策予算復活に関する決議

●(売春対策国民協議会)一九五八

●第十八回実行委員会報告。(売春対策国民協議会)一九五八

●岸首相の政治責任を問う。売春対策予算編成に就て

●(売春対策国民協議会)一九五八

●白線の女。中村三郎。一九五八

●売春防止法施行に関する資料。警視庁。一九五八



第18巻

婦人保護の二カ年。大阪府民生部。一九五八・三

●百億円の売春市場。橋本嘉夫／装幀。矢島健一。一九五八・三

●暁の星(反題)。城田すず子／「暁の星」製作について。久布白オチミ／あとがき。深津文雄。一九五八・三

●売春捜査読本。神奈川県警察本部。一九五九・一

●婦人補導院在院者に関する調査(売春対策国民協議会資料18)

●(法務省矯正局)一九五九・一

●婦人保護施設入所状況及び設置状況(売春対策国民協議会資料19)

●(1)(2)。(厚生省社会局生活課)一九五九・一

●元赤線従業婦人留置状況／元赤線業者転業状況(売春対策国民協議会資料20)

●警視庁。一九五九・一

●売春関係事犯検挙状況(売春対策国民協議会資料21)

●(警察庁)一九五九・一

●街娼・ボン引の状況(売春対策国民協議会資料23)

●警視庁。一九五九・一

●売春対策関係法令調(売春対策国民協議会資料23)

●(売春対策審議会)一九五九・一

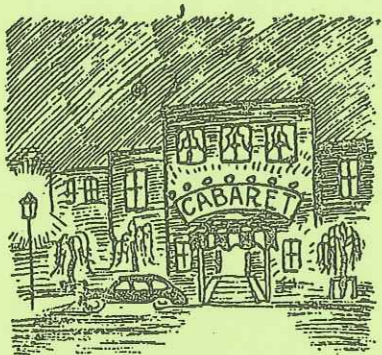
●人身売買及び他人の売淫から利益を得ることの禁止に関する質問書

●の回答送付の件(国社第四五号)・外務大臣。一九五九・二

●要望書。売春対策国民協議会会長。一九五九・二

●売春防止対策関係資料。東京都民生局児童婦人部。一九五九・三

●碧い眼の恋人たち。渡辺すみ子／装幀。沢田哲郎。一九五九・三



第16巻

人身売買及び他人の売春からの搾取の禁止に関する条約の説明書。外務省。法務省。一九五八・一

●第十九回実行委員会報告。(売春対策国民協議会)一九五八・二

●人身売買及び他人の売春からの搾取の禁止に関する条約の締結について国会の承認を求めめる件(閣議請願の件

●(第一四一四号)・外務大臣。一九五八・二

●みんなしあわせになるために(ポスター)。新生活運動協会。売春対策国民協議会。日本基督教婦人矯風会。一九五八・三

●売春対策審議会資料追録昭和三十三年三月

●(売春対策審議会)一九五八・三

●売春防止法改正案。婦人補導院法案(売春対策国民協議会資料No.12)一九五八・三

●第廿回実行委員会報告。(売春対策国民協議会)一九五八・三

●第21回実行委員会報告書。(売春対策国民協議会)一九五八・三

●〔講演と映画の会案内〕久布白オチミ。一九五八・三

●売春対策地方婦人組織一覽表(売春対策国民協議会資料No.13)

●(売春対策国民協議会)一九五八・三

●日本基督教婦人矯風会支部一覽。一九五八・四

●趣意書(記念シールの頒布)。日本基督教婦人矯風会本部。一九五八・四

●人身売買及び他人の売春からの搾取の禁止に関する条約の締結について承認を求めめるの件(内閣外第四五号)

●内閣官房長官。一九五八・四

●第一回実行委員会報告書。(売春対策国民協議会)一九五八・四

●人身売買及び他人の売春からの搾取の禁止に関する条約(売春対策国民協議会資料No.14)一九五八・四

●「法務省設置法の一部を改正する立法案」通過についての要望書。売春対策国民協議会会長。一九五八・四

●人身売買及び他人の売春からの搾取の禁止に関する条約への加入に関し閣議請願の件(条約第五〇八号)

●外務大臣。一九五八・四

●売春防止法実施に伴う接客婦の精神医学的調査(生活史を中心として)。木村定。一九五八・四

●売春防止法の逐条解説。警視庁保安局防犯課。一九五八・四

●白線。光井雄一郎／装幀。吉崎正巳。一九五八・四

●自由民主党の公認・準公認候補者選定についての要望書

●(売春対策国民協議会会長)一九五八・五

●売春実務提要。編。警察実務研究会。一九五八・五

●第三回実行委員会御通知。売春対策国民協議会。一九五八・七

第19巻

第二回婦選会議

●(大学婦人協会・全国地域婦人団体連絡協議会・全国基督教女子青年会・日本基督教婦人矯風会・日本婦人平和協会・婦選同盟会・日本婦人有権者同盟)一九五九・四

●日本売春社会史。中村三郎。一九五九・五

●いわゆるひもの実態調査(その1)(その2)(売春対策国民協議会資料25)

●警視庁。一九五九・六

●元赤線業者転業状況一覽表(売春対策国民協議会資料26)

●警視庁。一九五九・六

●元青線業者転業状況一覽表(売春対策国民協議会資料27)

●警視庁。一九五九・六

●売春関係事犯検挙状況調(売春対策国民協議会資料28)

●警視庁。一九五九・六

●街娼についての検討資料(売春対策国民協議会資料24)

●(警視庁)一九五九・六

●売春関係立法例(秘)とくに単純売春とひもに関係した法例について。法務省刑務局。一九五九・六

●第一回実行委員会報告書／予算案／決算／会計報告(売春対策国民協議会)一九五九・六

●県民は売春問題についてどのような考えであるか(世論調査の結果)。(三重県民生労働厚生世話課)一九五九・七

●(1) 花のない墓標。進駐軍による日本人虐殺の記録

●(新井猛一郎／序。小宮山量平／そういて。瀧平一郎)一九五九・七

●第二回実行委員会報告書。(売春対策国民協議会)一九五九・七

●オリエンティック開催にそなえての要望書

●(売春対策国民協議会会長)一九五九・七

●法務省所管昭和35年度「売春関係」事項概算要求概要(売春対策国民協議会資料29)

●(法務省)一九五九・九

●労働省所管昭和35年度「売春対策」予算(売春対策国民協議会資料30)

●(労働省)一九五九・九

●昭和35年度婦人保護費予要求額(売春対策国民協議会資料31)

●(厚生省社会局生活課)一九五九・九

●第三回実行委員会報告／昭和35年度売春対策関係要求予算

●(売春対策国民協議会)一九五九・九

●人身売買。海外出稼ぎ女。森克己。一九五九・一〇

第20巻

第四回実行委員会報告／昭和35年度売春対策関係要求額／会計報告。(売春対策国民協議会。一九五九・二)

日本七年間の謎―アメリカへの公開状。木村文平。一九五九・一〇
芸登録制についての要望(売春対策国民協議会資料33)／請願書(売春対策国民協議会資料34)。売春対策審議会会長・売春対策審議会委員、全国芸妓登録同盟会会長。一九五九・一〇
献館式次第。日本基督教婦人矯風会。一九五九・一〇

第六回実行委員会報告／昭和三十五年國家予算についてお願い。(売春対策国民協議会／売春対策国民協議会・全国社会福祉協議会。一九五九・二)

芸妓登録制についての要望。売春対策国民協議会会長。一九五九・二
〔売春対策予算獲得について〕。売春対策国民協議会。一九五九・二

売春対策の現況

●編II 売春対策審議会／序にかえてII 菅原通浩。一九五九・二
衆議院社会労働委員会委員名簿／参議院社会労働委員会委員名簿／自由民主党政務調査会名簿。一九五九・二
婦人保護施設の現状と問題点。売春婦を保護更生させるために。一九五九・二

売春防止の予算を是非確保して下さい
●全国売春対策関係者・全国婦人保護施設関係者。一九五九・二
昭和35年度売春対策関係予算。厚生省・労働省。一九五九・二
売春関係事犯検挙状況(売春対策国民協議会資料35)
●警視庁保安局。一九五九・二
売春関係事犯の状況について(売春対策国民協議会資料36)
●福岡県保安課。一九五九・二

第21巻

●売春対策資料集昭和三十五年度
●日本基督教婦人矯風会純潔部。一九六〇
●京都府。一九六〇・一
第八回実行委員会／売春防止法施行二周年にそなえ報道関係の方々に資料を提供する会
●(売春対策国民協議会。一九六〇・二)
風俗警察五十講。編II 防犯実務研究会。一九六〇・二
売春に関する資料第四号(婦人関係資料シリーズ(般資料第四号)
●労働省婦人少年局。一九六〇・二

34年11月現在婦人保護施設収容状況(売春対策国民協議会資料39)
●厚生省。一九六〇・二
婦人相談所における経路別受付人員(売春対策国民協議会資料40)
●厚生省。一九六〇・二
性病患者届出状況(ほか)(売春対策国民協議会資料41)
●厚生省。一九六〇・二
婦人相談所実績(ほか)(売春対策国民協議会資料42)
●東京都民生局婦人部。一九六〇・二

売春防止法施行後1年間の基地接客婦の性病―三沢市の例(売春対策国民協議会資料43)。十和田保健所(川村良二)。一九六〇・二
売春に関する資料。法務省矯正局。一九六〇・三
街娼と「ヒモ」。大阪府民生部／はしがきII 播磨重男。一九六〇・三

売春防止法改正要求事項。売春対策国民協議会。一九六〇・三
売春も買春もない街明るい街。大阪府民生局。一九六〇・五
婦人の更生に関する事例(婦人関係資料シリーズ調査資料No.30)
●労働省婦人少年局。一九六〇・七
よあけ第六号

●野本千代・芳内喜定・高木秀雄・石丸敏・大野智恵子・高橋静子・中丸マキ
ノ山本周子・三好けい子・佐藤百々恵。一九六〇・八
日本売春史。渡辺英三郎／装幀II 越石幸子。一九六〇・九
売春対策国民協議会趣意書。一九六〇・九
第八回実行委員会報告／会計報告
●(売春対策国民協議会。一九六〇・一〇)
第21回国際廃娼会議(売春対策。第四十二号附録)
●法務省刑事局。一九六〇・二

第22巻
●売春禁止条例に関する地方自治体議事録

第23巻
●(売春対策)売春対策国民協議会機関紙(会報 第一号)第七号
一九五七年五月〇日(一九六四年五月二日)

第24巻

●(第一回国会)
〔闇の女問題〕
●参議院決算・労働委員会連合審査会1号。一九四七・八
●(第一回国会)
性病予防法案。参議院厚生委員会11号。一九四八・六・二
売春等処罰法案
●衆議院治安及び地方制度委員会46号。一九四八・六・二
●(第五回国会)
〔山形県上ノ山温泉性病事件〕
●参議院厚生委員会1号。一九四九・三・三
●(第二回国会)
武蔵野市八丁特飲街に関する件。参議院文部・法務・厚生委員会連合審査会 閉1号。一九五一・九・三

第25巻
●(第三回国会)
女子及び年少者の人身売買に関する件
●衆議院行政監察特別委員会10号。二五・三・二五
広島市大須賀町に特殊飲食店街設置反対の請願
●参議院厚生委員会30号。一九五二・六・二七
●(第一回国会)
〔山梨県教育環境に関する調査報告の件〕
●参議院文部委員会 8号。一九五二・二・九
〔街娼への検診〕。参議院決算委員会21号。一九五三・三・二二
●(第一回国会)
売春等処罰法案。参議院法務・地方行政・厚生委員会連合審査会1号
一九五三・三・二二
●(第一回国会)
売春取締に関する件(売春対策委員会の設置)
●参議院法務委員会6号。一九五三・七・一
●(第一回国会)
売春対策に関する件。参議院法務委員会 閉2号。一九五四・九・二四
●(第二回国会)
鹿兒島県の松元事件に関する件
●参議院文教委員会4号。一九五五・五・二四
●(第一回国会)
売春等処罰法案。衆議院法務委員会21号。一九五五・六・二六
●(第一回国会)
売春防止法案。衆議院法務委員会31号。一九五六・五・九

多様化した「性の商品化」
解明のために

吉見周子

戦後、公娼制度は廃止され、一九五六(昭和三二)年に「売春防止法」が制定された。だが、この昭和三〇年代から日本は高度経済成長に突入、それと同時に「性解放」の風潮が相乗りする形で、「性の商品化」に拍車をかけた。カネとモノが優先となり、セックス産業もあらゆる組織と形態ではびこるようになった。

七〇年代以降、日本国内のみではならず、買春ツアーが観光という名のもとに繰り返され、さらに東南アジア諸国一帯に日本経済が進出していくにつれ、多数の女性が来日し売春をする、いわゆる「ジャパゆきさん」がくりだされた。それがさらにストリップ、ポルノなどの擬似買春営業をほびらせ、ビデオ・デッキ普及とともにポルノ・ビデオが個人の家のなかまで入りこんできている。

一方、日本経済の急速な豊かさの陰に、相対的な貧困―住宅費のためのローン返済、税金の加重、高くなる教育費、離婚の増加、欲望をそそる消費生活の急激な拡大など―による金銭的な欲求不満は、新しい形態の性産業をつくりだし、主婦・OL・学生まで売春の裾野は広がっていった。未成年が犯罪に巻き込まれる危険も増大しつつある。

今回、不二出版で復刻される『性暴力問題資料集―買春問題資料集 戦後編』は、一九六〇年までの莫大な資料を収集したものである。

この複雑化・多様化している買春問題を根本的に考える上にも、人権問題として「性」に対する意識革命をめざすためにも、研究者のみならず、二世紀をいかに生きるかの個人の課題として必須のテキストであり研究材料であると思う。

現在の性的搾取・虐待の問題を照らす作業

宮本潤子

一九九九年五月、やっと日本は「児童買春、児童ポルノに係る行為等の処罰及び保護に関する法律」を成立させた。「子ども権利条約」批准から五年、このとき日本史上初めて「買春」という言葉が法律用語となり、この言葉の指し示す行為が子どもに対する商業的性的搾取・虐待として明確に犯罪化された。

今回の編集復刻版には、時代を遡ること四〇〜五〇数年前、敗戦直後の日本社会における売買春の現実と、戦前からの悲願であった公娼制廃止、「売春防止法」の成立・施行にかかわる歴史資料が豊富に収められている。そこには、親の借金のために、またいい職があると騙されて売られる十代の娘たちの姿、売買する業者の巧妙な実態とそれへの糾弾の声、「人身売買」という言葉も既に登場している。しかし「買春者」、この言葉はほとんど出てこない。

改めて驚かされるのは、一九四五年八月当時の日本政府がまず行ったことが「外国駐屯軍慰安施設等整備要綱」の通牒であり、そのための第一回接客婦募集広告が「戦後処理の国家的緊急施設、新日本女性を求む」であったことである。六〇年近くを経た現在も日本軍が行った軍隊「慰安婦」制度の「戦後処理」は終わっていないし、「新日本女性」たちが未成年者も含めて性的搾取・虐待の対象とされる問題状況は何ら解決していない。めざましい経済的、技術的進歩を遂げた日本社会の精神構造の中で、ここだけは置き去りにされてきたのではないかと、と思わされる。

七〇〇点にも及ぶ全資料のリストと編集部から送られたいくつもの個別資料を見ていくとき、とくに調べられる側の痛みに配慮し、丁寧に進められた現場からの調査資料に感謝の念を抱かせられる。後世の私たちは、一般市民も学者・研究者も、思い込みや性急な結論付けを廃し、文字面の裏にある人間の努力、思い、行動の重みを、敬意をもって理解できる読み方をしたい。もし私たちがであったならその時どうしただろう、何ができなかつたのかを自らに問いつつ、同時に時代の制約の中でとられた行動を絶対化することなく読んでいくことが、これらの資料群をほんとうに活かしていくということになるのではないだろうか。

運動の継承を ねがって

高橋喜久江

不二出版から戦前編に引きつづき戦後編の「買春問題資料集成」が、刊行されることをよろこぶ者のひとりです。

矯風会につらなるものとして、過去の歴史を知ること、それを現在と将来へ活かすことの大切さ、温故知新を痛感してきました。そして記録をのこす大切さも。しかしまた、運動する者、現場にある者は、目前のことに追われ、ついそのことがおろそかになりがちです。

戦前の牢固たる公娼制度が敗戦によって一時、崩れました（R A Aなどの新設はありますが）。それが次官通達備考欄によって特飲店に赤線がみとめられ、売春禁止法制定促進委員会（33団体）の運動となり、売春防止法の獲得となります。この間、赤線業者たちの暗躍がつかまいますが、資料として残されているものは少なく、社会全体のうごきとしては全貌をとらえられていないとはいえないでしょう。

売春防止法が全面施行されてから今年で四十六年、その功罪が巷間いわれませんが、私は先人たちの労苦をしるんできました。とくに女性福祉活動が法律に根拠のある事業として全国的に推進されたことは、それまで救世軍や矯風会などのボランティアな活動しかなかった時代に比べて、一大進歩であります。現在、DV防止法の受け皿としていささか本来ケースがなおざりにされがちといわれますが、今後も女性の権利確立のため、来日女性の問題も視野にいれて、支援を必要とする女性、母子のために一層充実されなければなりません。

この資料集の刊行で、社会の関心が深まることを期待します。またその後、時代、現在に至るものの刊行をも願っています。

たかはしきくえ ● 日本キリスト教婦人矯風会・売買春問題ととりくむ会

買春問題資料集成

戦前編／第一期・第二期

全三十一巻（編集復刻版・別冊1）

● A4判・B5判／上製・総約11,500頁

● 揃定価＝本体760,000円十税

● 推薦＝江原由美子・小倉葉二・高橋喜久江・竹村民郎・もろさわようこ
／浅野千恵・小野沢あかね・大日方純夫・酒井シヅ

戦前期七〇年に及ぶ公娼制度をめぐる娼婦運動と存娼運動との攻防。そして良質の兵士増産のために性病管理、買春管理に腐心し、国際的な人身売買批判への対応に苦慮した、国家の性管理政策。娼婦運動関係中心の第一期に引き続き、買春管理政策と貸座敷業者側の機関紙類などに重点を置いた第二期を刊行。さまざまな視点から考察されている買春問題研究に必須の資料群・全九四五点。

第一期

第1巻＝娼婦運動Ⅰ（1872～1911）・解説

第2巻＝娼婦運動Ⅱ（1912～1925）

第3巻＝娼婦運動Ⅲ（1926～1928）

● 一九九七年四月刊行 ● 揃定価＝本体七五、〇〇〇円十税
ISBN4-8350-3909-2

第4巻＝娼婦運動Ⅳ（1929～1931）

第5巻＝娼婦運動Ⅴ（1932～1935）

第6巻＝娼婦運動Ⅵ（1936～1944）

● 一九九七年九月刊行 ● 揃定価＝本体七五、〇〇〇円十税
ISBN4-8350-3913-0

第7巻＝存娼運動Ⅰ（1890～1925）

第8巻＝存娼運動Ⅱ（1926～1940）

第9巻＝法令・規則等Ⅰ（1875～1937）

● 一九九七年二月刊行 ● 揃定価＝本体七五、〇〇〇円十税
ISBN4-8350-3917-3

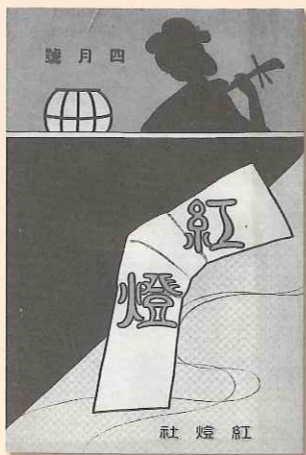
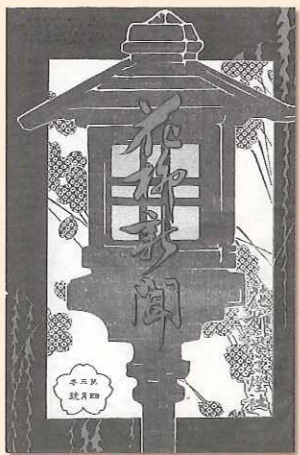
第10巻＝研究・ルポ等Ⅰ（1872～1912）

第11巻＝研究・ルポ等Ⅱ（1913～1920）

第12巻＝研究・ルポ等Ⅲ（1921～1927）

第13巻＝研究・ルポ等Ⅳ（1928～1935）

● 一九九八年四月刊行 ● 揃定価＝本体100,000円十税
ISBN4-8350-3921-1



日本女性運動資料集成

鈴木裕子編・解説

《全10巻・別冊1》

● A5判・上製・函入・総8,604頁

● 定価＝各巻本体二五、〇〇〇円十税 ISBN4-938303-26-4

● '98年12月配本完結

● 推薦＝上野千鶴子・落合恵子・金森トシエ・加納実紀代・住井すゑ・高橋喜久江・土井たか子・松尾尊究・もろさわようこ・米田佐代子

● 女たちの近代を女たち自身の運動によって記録する、女性史研究にとって待望の基本資料集。ピラ、運動体の機関誌類をはじめ、官憲側の資料一般紙誌を駆使して、敗戦までの激動の時代を生きた女たちの実像に迫る。

藤野豊著

性の国家管理——買春の近現代史

● A5判・並製・304頁

● 定価＝本体一、八〇〇円十税 ISBN4-8350-3868-1

● '01年10月刊

● 国家による買春管理を性病予防の観点から解き明かし、存娼派業者側の論理も明らかにしながら、買春の近現代史を照射する。これまでの買春史の書き換えを迫る意欲作。

藤目ゆき著

性の歴史学

● 公娼制度・随胎罪体制から売春防止法・優生保護法体制へ

● A5判・並製・448頁

● 定価＝本体四、八〇〇円十税 ISBN4-938303-18-3

● '97年3月刊

● 日本近現代史を性と生殖の視点から照射し、底辺の女性から大日本帝国のフェミニストたちまで、日本女性のあゆみを鋭く描きました。これまでの女性史の常識を問い直す著。

第二期

第14巻＝買春管理政策Ⅰ（1872～1909）・解説

第15巻＝買春管理政策Ⅱ（1910～1918）

第16巻＝買春管理政策Ⅲ（1919～1924）

別冊＝解説・総目次・索引

● 二〇〇一年一〇月刊行 ● 揃定価＝本体七五、〇〇〇円十税
ISBN4-8350-5066-5

第17巻＝買春管理政策Ⅳ（1924・10～1925）

第18巻＝買春管理政策Ⅴ（1926～1929）

第19巻＝買春管理政策Ⅵ（1930～1931）

● 二〇〇三年二月刊行 ● 揃定価＝本体七五、〇〇〇円十税
ISBN4-8350-5071-1

第20巻＝買春管理政策Ⅶ（1931・2～1931・7）

第21巻＝買春管理政策Ⅷ（1931・8～1931・4）

第22巻＝買春管理政策Ⅸ（1934・8～1936・9）

● 二〇〇三年六月刊行 ● 揃定価＝本体七五、〇〇〇円十税
ISBN4-8350-5075-4

第23巻＝買春管理政策Ⅹ（1936・8～1945）

第24巻＝帝国議会議事録Ⅰ（1919～1935）

第25巻＝娼婦運動Ⅶ（1894～1937）

● 二〇〇三年九月刊行 ● 揃定価＝本体七〇、〇〇〇円十税
ISBN4-8350-5079-7

第26巻＝存娼運動Ⅲ（正俗の鑑「紅灯」ほか）

第27巻＝存娼運動Ⅳ（花柳新聞「花柳界」）

第28巻＝存娼運動Ⅴ（三業時報「東京三業界」「三業界」）

● 二〇〇三年二月刊行 ● 揃定価＝本体六五、〇〇〇円十税
ISBN4-8350-5083-5

第29巻＝研究・ルポ等Ⅴ（1883～1914）

第30巻＝研究・ルポ等Ⅵ（1916～1927）

第31巻＝研究・ルポ等Ⅶ（1927・12～1935）

● 二〇〇四年二月刊行 ● 揃定価＝本体七五、〇〇〇円十税
ISBN4-8350-5087-8

別冊＝解説（第一期）秋定嘉和・ゆのまえ知子／第二期＝藤野豊

● 全31巻の総目次・索引

● 別冊のみ分売可＝本体二、〇〇〇円十税

● ISBN4-8350-5070-3

〔編集復刻版〕

性暴力 問題資料集成

買春問題資料集成〔戦後編〕

全二十五巻・別冊1

A4判・B5判／上製／総約九〇〇〇ページ

● 揃定価＝本体六〇〇、〇〇〇円＋税

● 推薦＝角田由紀子・高里鈴代・吉見周子・宮本潤子・高橋喜久江

● 別冊＝解説（藤目ゆき／大阪外国語大学）・総目次・索引

別冊のみ分売可＝一、〇〇〇円＋税 ISBN4-8350-5355-9

配本概要（すべてA4判、ただし*印はB5判で別冊はA5判）

第一回配本 ● 第1巻 一九四五年一〇月～一九四九年八月

第2巻 一九四九年九月～一九五二年二月

第3巻 一九五二年一月～一〇月

第二回配本 ● 第4巻 一九五二年一月～一九五三年二月

第5巻 一九五三年三月～六月

第6巻 一九五三年七月～十一月

第7巻 一九五三年十二月～一九五四年三月

第三回配本 ● 第8巻 一九五四年四月～一九五五年三月

第9巻 一九五五年六月～九月

第10巻 一九五五年一〇月～一九五六年三月

第11巻 一九五六年四月～七月

第四回配本 ● 第12巻 一九五六年八月～一九五七年二月

第13巻 一九五七年三月～五月

第14巻 一九五七年六月～一〇月

第15巻 一九五七年十一月～一九五八年一月

第五回配本 ● 第16巻 一九五八年二月～八月

第17巻 一九五八年九月～十一月

第18巻 一九五八年十二月～一九五九年三月

第19巻 一九五九年四月～七月

第六回配本 ● 第20巻 一九五九年七月～二月

第21巻 一九六〇年一月～二月

第22巻 売春禁止条例に関する地方自治体議事録

第七回配本 ● 第23巻 『売春対策』第一号～第七二号

第24巻 国会議事録I

第25巻 国会議事録II

別冊 解説・総目次・索引

二〇〇四年七月刊行

● 揃定価＝本体七五、〇〇〇円＋税
ISBN4-8350-5323-0

二〇〇四年十一月刊行

● 揃定価＝本体一〇〇、〇〇〇円＋税
ISBN4-8350-5327-3

二〇〇五年四月刊行

● 揃定価＝本体一〇〇、〇〇〇円＋税
ISBN4-8350-5332-X

二〇〇五年八月刊行

● 揃定価＝本体一〇〇、〇〇〇円＋税
ISBN4-8350-5337-0

二〇〇六年四月刊行

● 揃定価＝本体一〇〇、〇〇〇円＋税
ISBN4-8350-5342-7

二〇〇六年八月刊行

● 揃定価＝本体七五、〇〇〇円＋税
ISBN4-8350-5347-8

二〇〇六年十一月刊行

● 揃定価＝本体五〇、〇〇〇円＋税
ISBN4-8350-5351-6

2006年刊行分

2005年刊行分

2004年刊行分

買春問題資料集成
〔編集復刻版〕

〔戦前編／第I期〕全13巻

● 1997.4月～1998.4月既刊
廃娼運動資料を中心に集成

〔戦前編／第II期〕

全18巻・別冊1

● 2002.10月～2004.2月既刊
買春管理政策資料を中心に集成

〔戦後編〕 全25巻・別冊1

● 2004.7月～2006.12月刊行
性暴力問題資料集成

● 表示価格はすべて税別。

不二出版

T113,00023
東京都文京区向丘1-2-12
電話03-3812-4433
フアクミ03-3812-4464
振替001600294084